

新闻摘要



(8月21日～10月20日)

8月25日(星期二)

由日本漫画家根据各自战争经历描绘、创作的漫画作品展—《我的八月十五日》，在中国南京的“南京大屠杀纪念馆”开始展出。连日来，数千人前往纪念馆驻足参观。此次展览，是森田拳次先生等漫画家为了传达战争的记忆而发起的，ちばてつや先生及松本零士先生也积极赞同并提供作品参与展出。这些漫画家自2000年起，就已开始在日本各地巡回办展，而此次于中国办展，尚属首次。在“南京大屠杀纪念馆”的展览，将持续到11月15日。其后，还将转至哈尔滨及天津继续展出。此外，已计划在同处将这一活动辟为常设性展览。

10月1日(星期四)

厚生劳动省于30日发表了2009年新被认定的一名遗华日本孤儿之姓名。此孤儿将于11月17日暂时回国，并根据线索寻找亲人。此次短期回国预定逗留至11月28日，其间，如若有人声明可能与之有亲属关系，还将实施会面调查。

10月2日(星期五)

1日这一天，向国家提出索赔诉讼的遗华孤儿原告代表池田澄江女士，出席了在北京举行的中国建国60周年盛大庆典。池田女士是9月7日在东京的家中收到由中国大使馆寄来的邀请函。她说：“回到日本28年之后，收到了来自故乡的请帖，油然而生的留恋之情使我的心潮难以平静。”

10月10日(星期六)

9日，法务省签发一份滞留特别许可，批准居住在奈良市、跟随声称自身为遗华孤儿第

ニュース記事から (8月21日～10月20日)

8月25日(火)

にほん まんがかみづかせんそうたいけんか
日本の漫画家が自らの戦争体験を描いた
わたし「私の八月十五日展」が中国の「南京大
虐殺記念館」で始まり、連日、数千人が
あとず訪れている。同展は、漫画家の森田拳次さん
らが戦争の記憶を伝えようと始め、ちばてつやさ
まつもとれいじさんどうしゅっぴん
ん、松本零士さんらが賛同して出品。2000
かくちてんじかいさいはじ
年から日本各地で展示し、中国での開催は初め
どうしょて。同所での展示は11月15日まで、その後、
はるびんてんしんのちじょうせつ
ハルビン、天津でも開催した後、同所で常設展
よてい示される予定となっている。

10月1日(木)

ざんりりゅうじんこじどあら
中国残留日本人孤児として2009年度は新
ひとりかんにんこうせいいろうどうしょう
たに1人が確認され、厚生労働省は30日、
めいほこうひょういちじきこく
その名簿を公表した。11月17日に一時帰国
てじょうほうたよにくしんさが
して、手がかりとなる情報を探りに肉親捜し
あこなどうげつたいざいちゅう
を行う。同月28日まで滞在予定で、滞在中、
かんけいしゃなのでたいめんちょうさじつ
肉親関係者が名乗り出れば、対面調査を実
し施する。

10月2日(金)

べきんひらけんこくしゅうねんしき
中国北京で1日開かれた建国60周年的式
てんこっかばいしょそしょうげんごくだん
典に、中国残留孤児国家賠償訴訟原告団
だいひょういけだすみえしゅっせきなのが
代表の池田澄江さんが出席した。9月7日、
とうきょうじたくたいしかんしょうたいじょう
東京の自宅に中国大使館から招待状が
とど届き、「帰国から28年、遠くなつた古里からの
まねおどろこいきもむね招きに驚き、恋しい気持ちで胸がつまつた」という。

10月10日(土)

ははおやせいかぞく
母親が中国残留孤児2世として家族とともに
こくりゅうこうしょごあおさかにゅうこく
中国黒竜江省から帰国後に、大阪入国
かんりきょくけつえん
管理局から「残留孤児とは血縁がないことが

二代的母亲及其家人从黑龙江省回到日本，后被大阪入国管理局查出“与遗华孤儿无血缘关系”而遭取消滞留资格、并被勒令回国的一对中国姐妹之滞留资格。这对姐妹之前向最高法院提出的、要求取消强制遣返处分的诉讼已宣告败诉，因此，除了这一对姐妹之外，其父母二人以及来到日本后出生的小妹，均将被遣返回中国。

10月10日（星期六）

基于中国黑龙江省方正县向日本提出要求日方负担方正县内“日本人公墓”管理费一事，日本政府首次表示，愿意出资援助其中部分费用。

①请注意

本栏目的新闻皆为一般报章的报道摘要。因此，并非为政府正式公布之内容，其中一部分还包含媒体的观察消息，敬请注意。

判明した」として、在留資格を取り消され、国外退去を命じられていた奈良市在住の中国人姉妹に、法務省は9日、在留特別許可を出しました。既に、最高裁で退去処分取り消しをもとめた訴訟の敗訴が確定しており、この2人の姉妹を残し、父母と来日後に生まれた三女の3人は、中国に強制送還されている。

10月10日（土）

中国側が黒竜江省方正県に建立した「日本人公墓」の維持管理費について、同県からの要請に基づき、日本政府として初めて、その一部を支援することになった。

①ご注意

本欄の内容は、すべて一般の新聞などで報道された内容を要約して掲載しているものです。したがって、政府が公式に発表したものではなく、一部には報道機関の観測記事なども含まれていますので、ご注意ください。